

令和5年度保護者アンケートおよび児童・生徒アンケートの結果について（概要）

令和6年9月25日
文教委員会資料
指導課

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

(保護者アンケート)
区立学校に通う全児童・生徒の保護者

(児童・生徒アンケート)

区立学校に通う2年生以上の全児童・生徒

【調査内容】

(保護者アンケート)

[A] 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について

[B] 品川区の教育施策について

[C] 学校と地域との連携・協働について

[D] ICT教育について

[E] 多様性・多文化理解について

太字は概要で示している内容

(児童・生徒アンケート)

[A] 学校や家での様子について

[B] 英語の学習について

[C] コンピュータやタブレットなどの活用について

[D] 多様性・多文化理解について

太字は概要で示している内容

※令和元年度の調査から、毎年調査するものと3年に一度調査するものを分けるなど調査項目を精査したうえで実施

【調査期間】

令和6年1月19日（金）から1月31日（水）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

(保護者アンケート)

配布数 22,895

回答数 20,002 (内有効数 19,913)

回答率 87.0%

(児童・生徒アンケート)

配布数 19,879

回答数 18,106 (内有効数 17,950)

回答率 90.3%

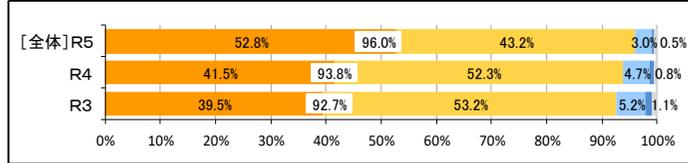
グラフの凡例： ■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答

※『肯定的な回答』は「当てはまる」「どちらか」として「当てはまる」の合計。

保護者アンケート

B 品川区の教育施策について

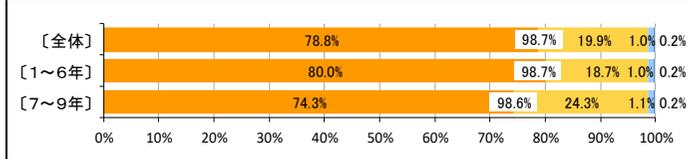
[4] 市民科は、良い学習だと思う。



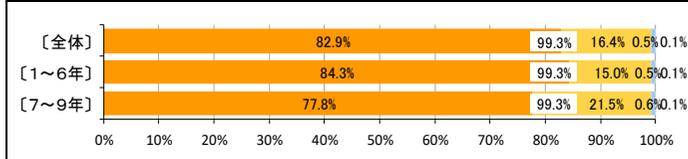
市民科の学習についての満足度は全体では9割以上が『肯定的な回答』をしており、令和3年度以降3年間、いずれも高い水準を維持している。

E 多様性・多文化理解について

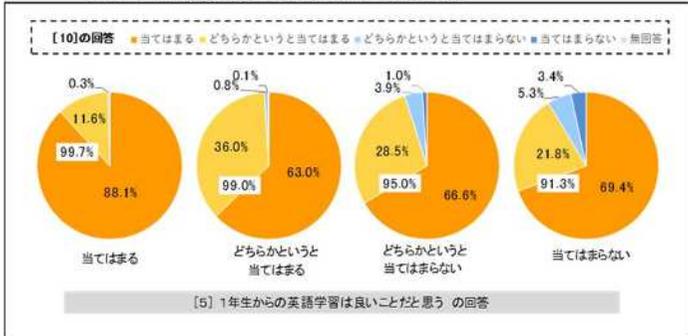
[9] お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う。



[10] お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う。



[5] 1年生からの英語学習は良いことだと思うとのクロス集計

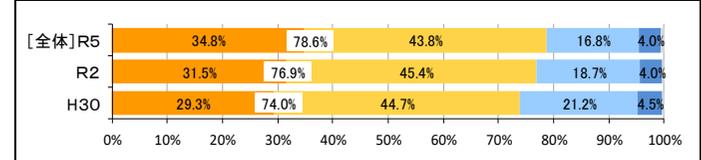


[5]の「1年生からの英語学習は良いことだと思う」の回答のうち、[10]「お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う」の回答状況を見ると、「1年生からの英語学習は良いことだと思う」と回答した人ほどお子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う傾向がみられた。

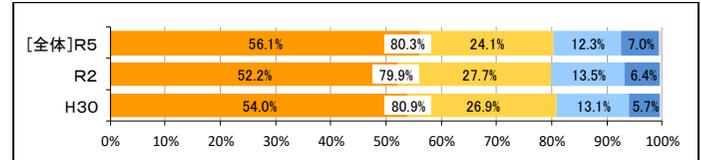
児童・生徒アンケート

A 学校や家での様子について

[2] (2年) 良いクラスをつくるため、話合いで意見を言う。
(3・4年) 学級などの集団において、自分の考えや意見を出すことができる。
(5～9年) 学級などの集団で活動するとき、自分たちで考え、行動できるように、他に働きかけることができる。



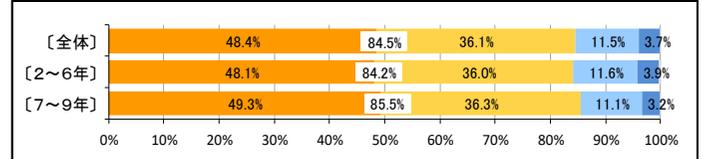
[4] (2～4年) 将来なりたい仕事ややりたいことがある。
(5～9年) 将来なりたい職業ややりたいこと、進学したい学校等があり、そのために努力している。



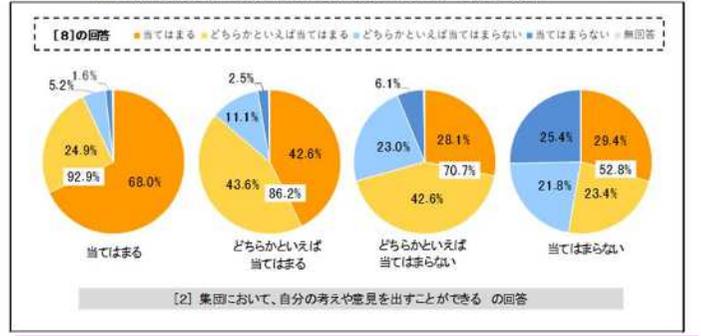
[4] (2～4年)「将来なりたい仕事ややりたいことがある」(5～9年)「将来なりたい職業ややりたいこと、進学したい学校等があり、そのために努力している」の回答状況を見ると、全体で8割以上の児童・生徒が『肯定的な回答』をしており、令和2年度、平成30年度と比較すると大きな変化はみられない。

D 多様性・多文化理解について

[8] (2～9年) 様々な立場や様々な文化をもつ人とコミュニケーションを取りたいと思う。



[2] 集団において、自分の考えや意見を出すことができるとのクロス集計



[2]の「集団において、自分の考えや意見を出すことができる」の回答の内、[8]「様々な立場や様々な文化をもつ人とコミュニケーションを取りたいと思う」の回答状況を見ると、「集団において、自分の考えや意見を出すことができる」と回答した人ほど、様々な立場や様々な文化をもつ人とコミュニケーションを取りたいと思う傾向がみられた。

令和5年度保護者アンケートの結果

令和5年度保護者アンケートの概要

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う全児童・生徒の保護者

【調査期間】

令和6年1月19日（金）から令和6年1月31日（水）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

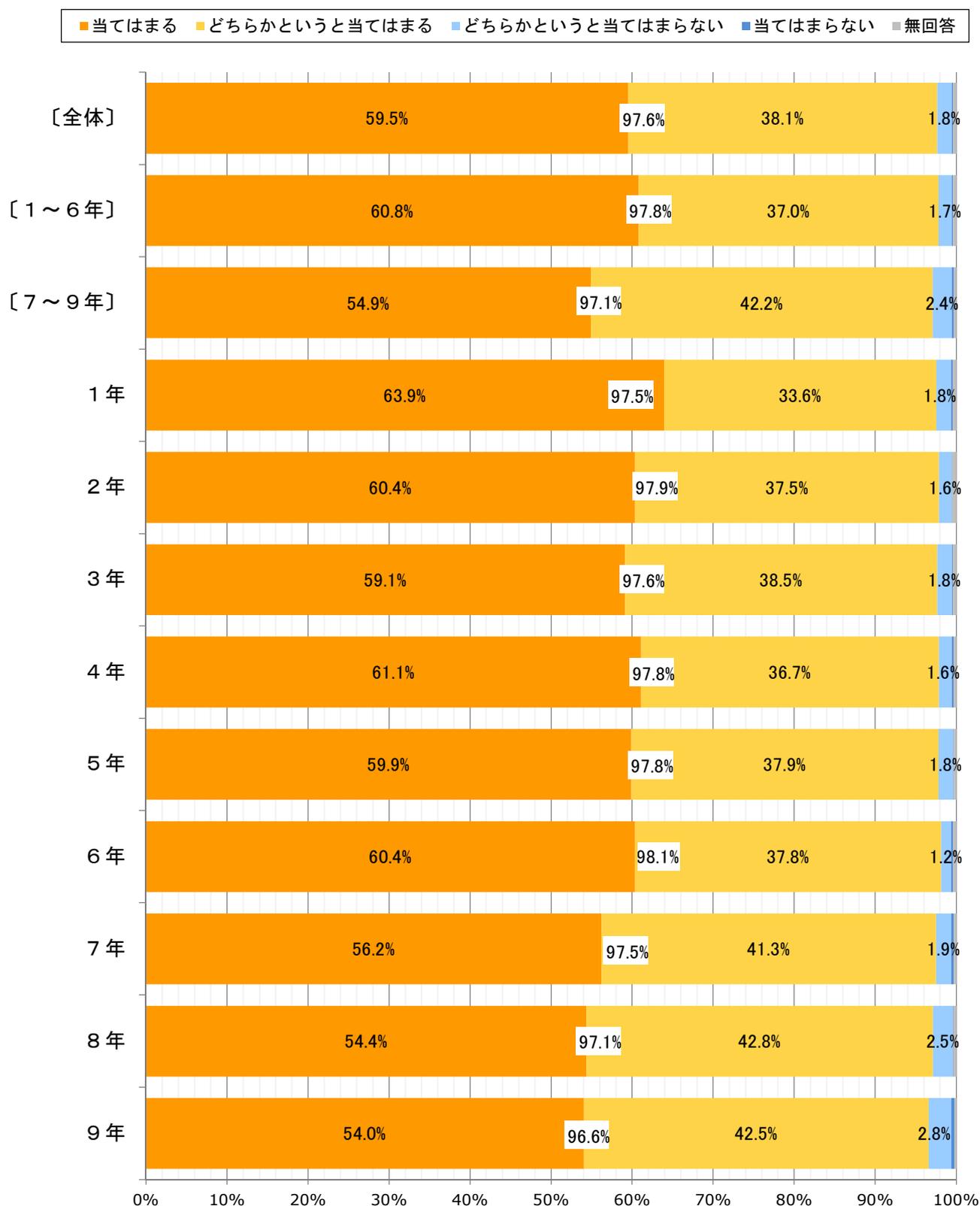
配布数 22,895 回答数 20,002（内、有効回答数 19,913） 回答率 87.0%

注記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. コメント欄内の『肯定的な回答』は、「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」の合計である。

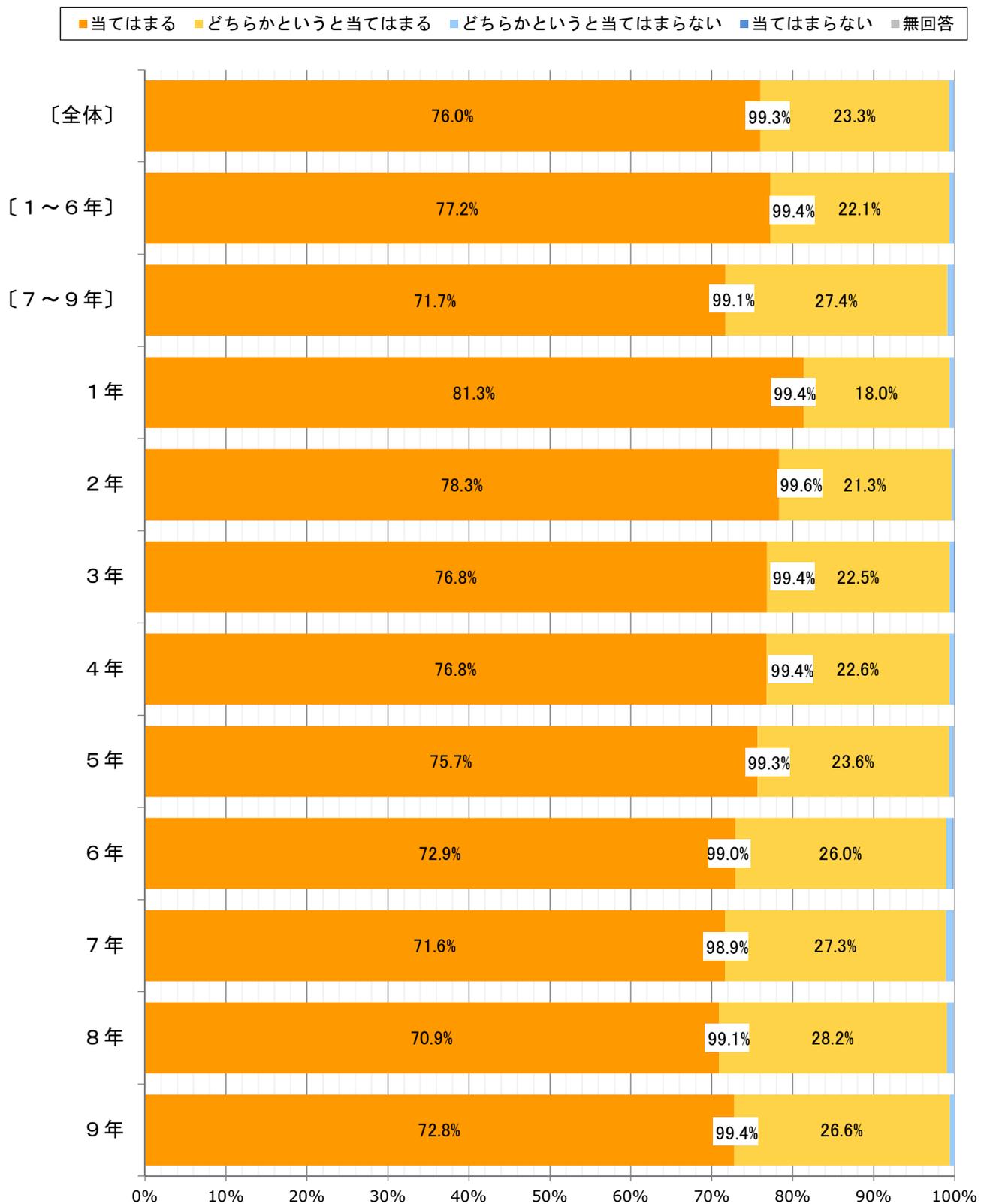
[A. 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について]

[1] 他者を尊重することの大切さを教えている。



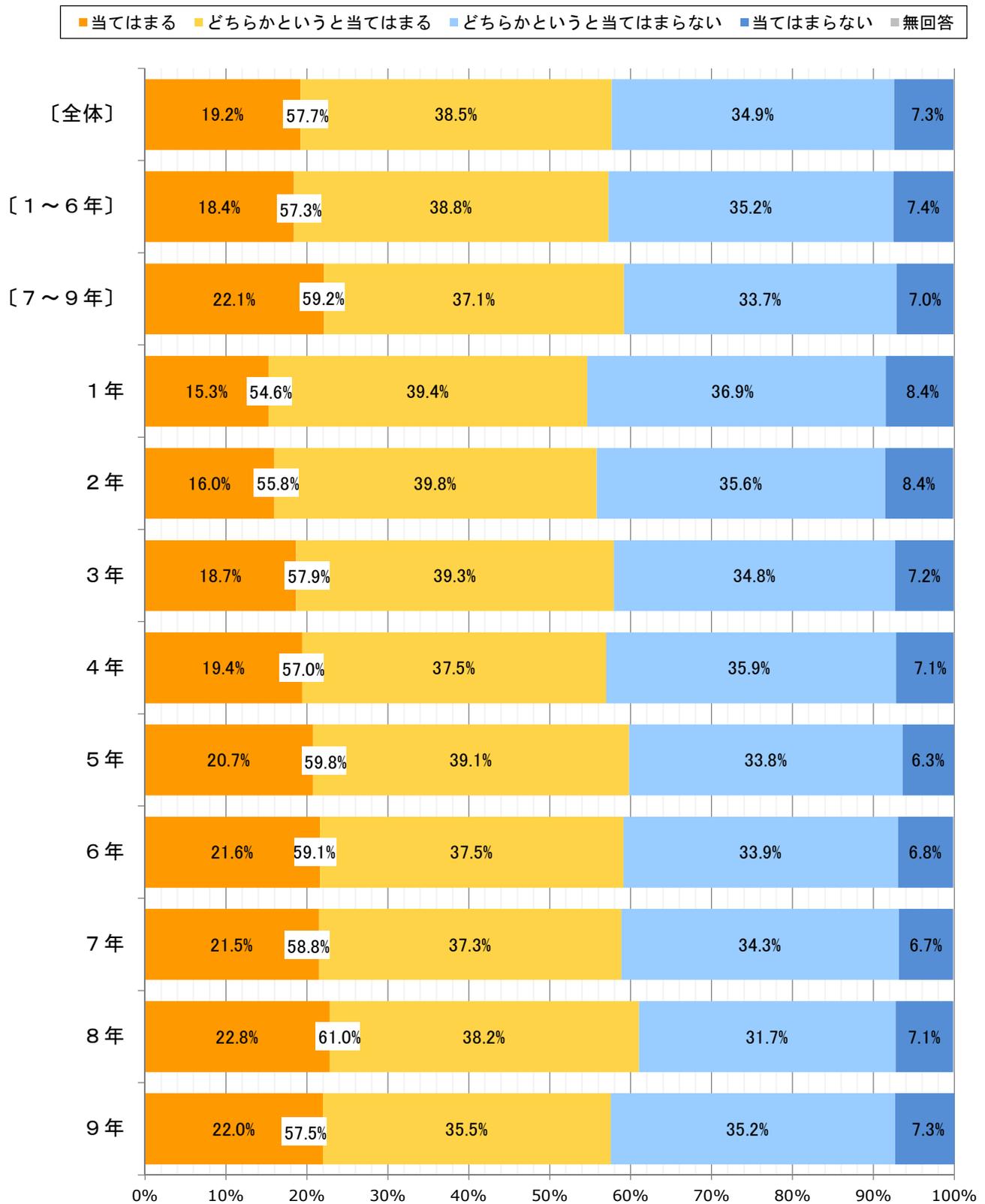
「他者を尊重することの大切さを教えている」に『肯定的な回答』は、全体で約97.6%であり、1～6年では97.8%、7～9年では97.1%である。
 「当てはまる」は全学年で50%～60%台の範囲となっている。1～6年は60.8%、7～9年は54.9%で約6ポイントの差である。

[2] 学校や公共のルール・マナーを守るようにしている。



「学校や公共のルール・マナーを守るようにしている」に『肯定的な回答』は、全体で99.3%となっている。1～6年は99.4%、7～9年は99.1%である。
 「当てはまる」の割合は全学年で70%を超えており、1年では81.3%と最も高い。

[3] 子どもに家事を分担している。

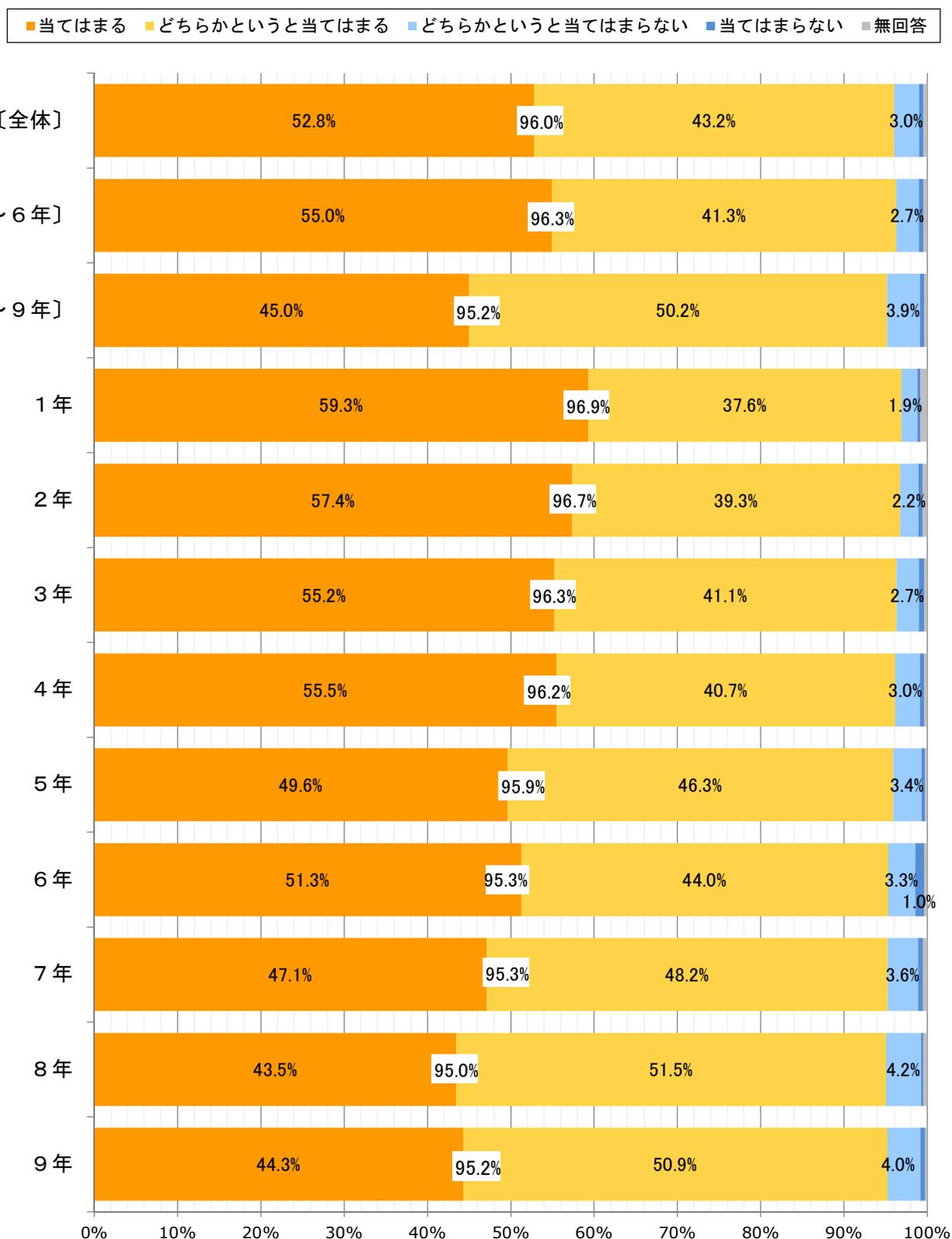


「子どもに家事を分担している」に『肯定的な回答』は、全体で約57.7%を占める。1～6年は57.3%、7～9年は59.2%である。

「当てはまる」の割合は全学年とも10～20%台である。

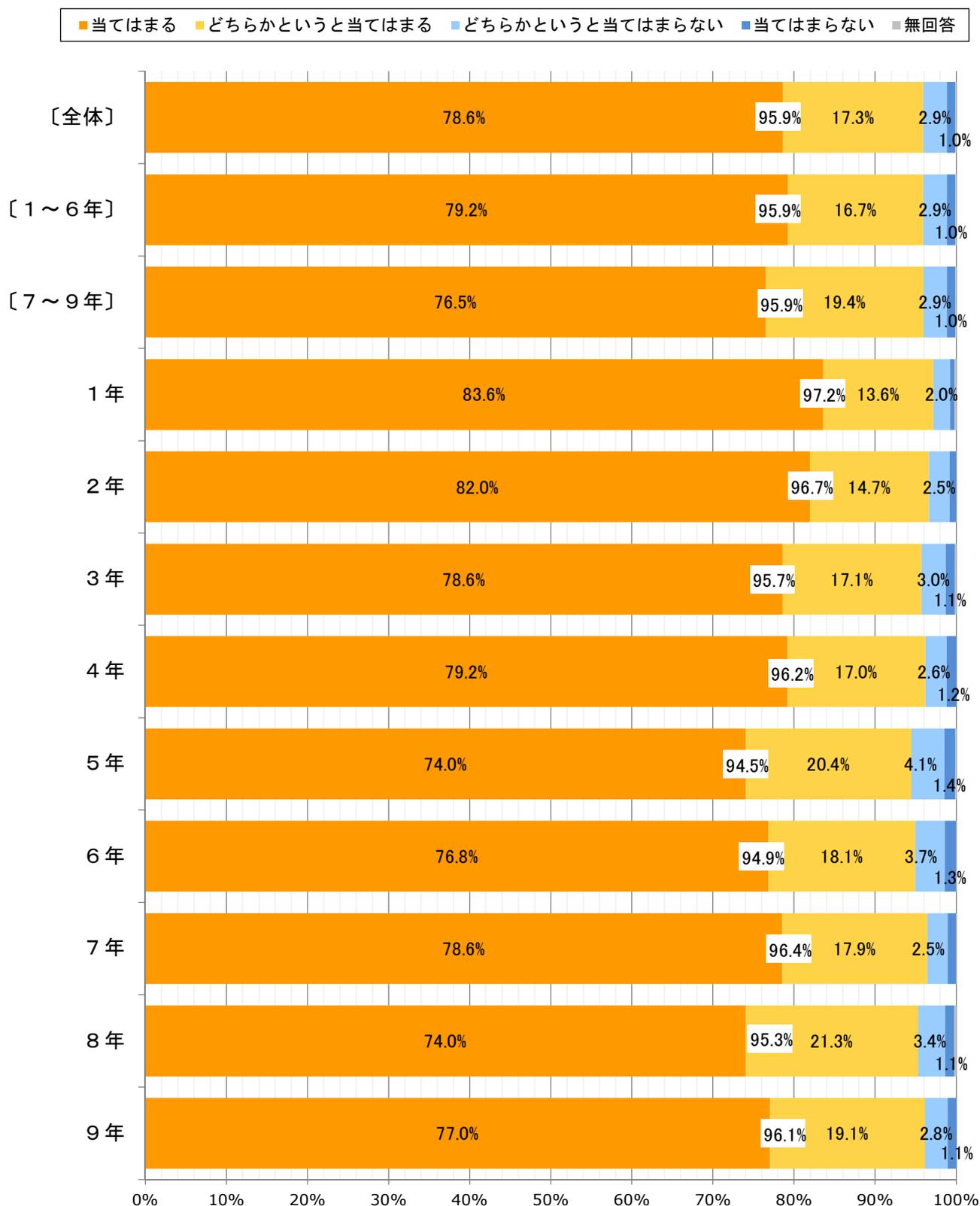
[B. 品川区の教育施策について]

[4] 市民科は、良い学習だと思う。



「市民科は、良い学習だと思う」に『肯定的な回答』は、全体で約96.0%である。『肯定的な回答』は1～6年では96.3%、7～9年では95.2%とほぼ同じ割合であるが、「当てはまる」は1～6年で55.0%、7～9年で45.0%と10ポイント差となっている。

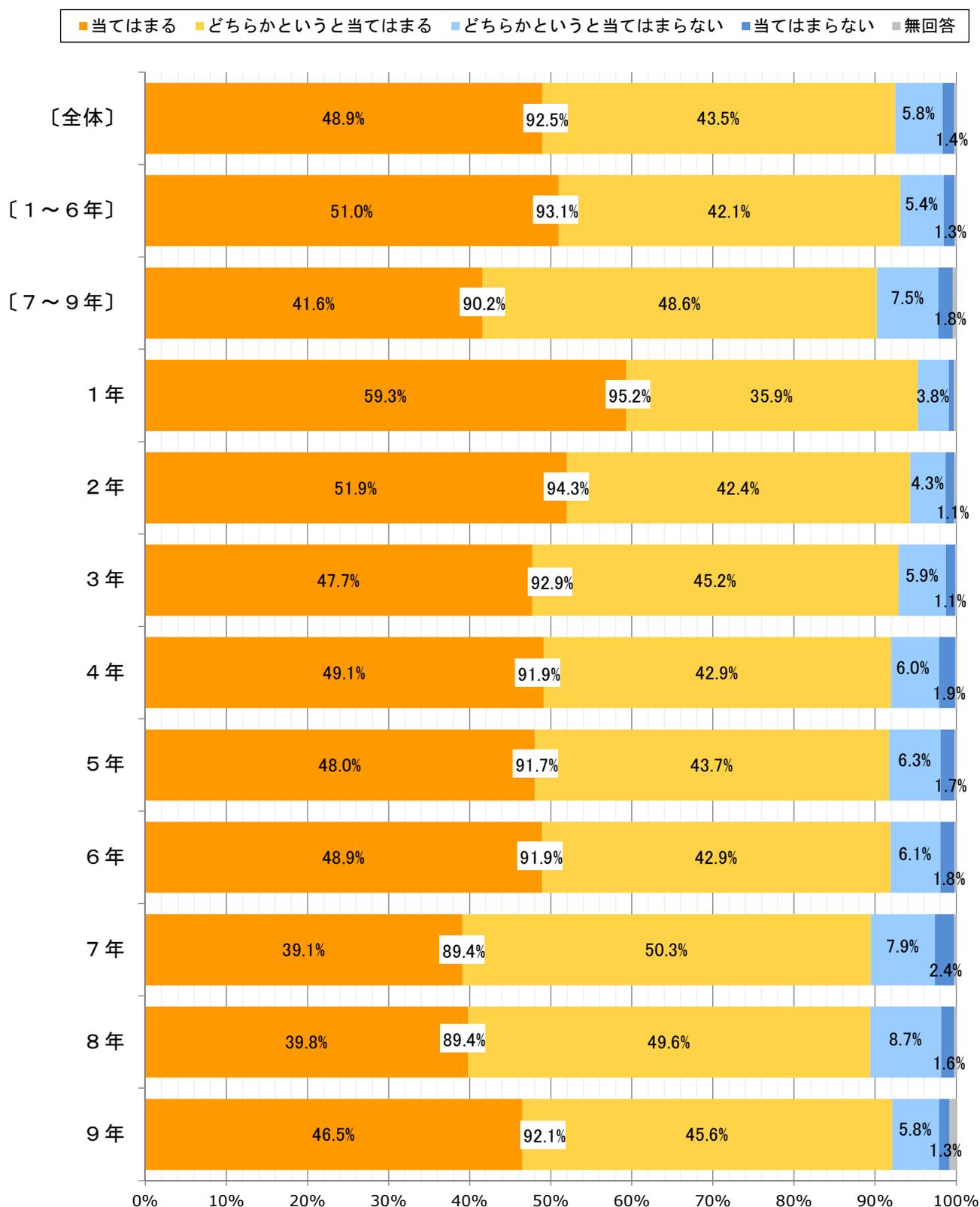
[5] 1年生からの英語学習は良いことだと思う。



「1年生からの英語学習は良いことだと思う」に『肯定的な回答』は、全体で95.9%で1～6年、7～9年も95.9%である。

「当てはまる」の割合は1～6年では79.2%、7～9年は76.5%で回答の割合がほぼ同じである。

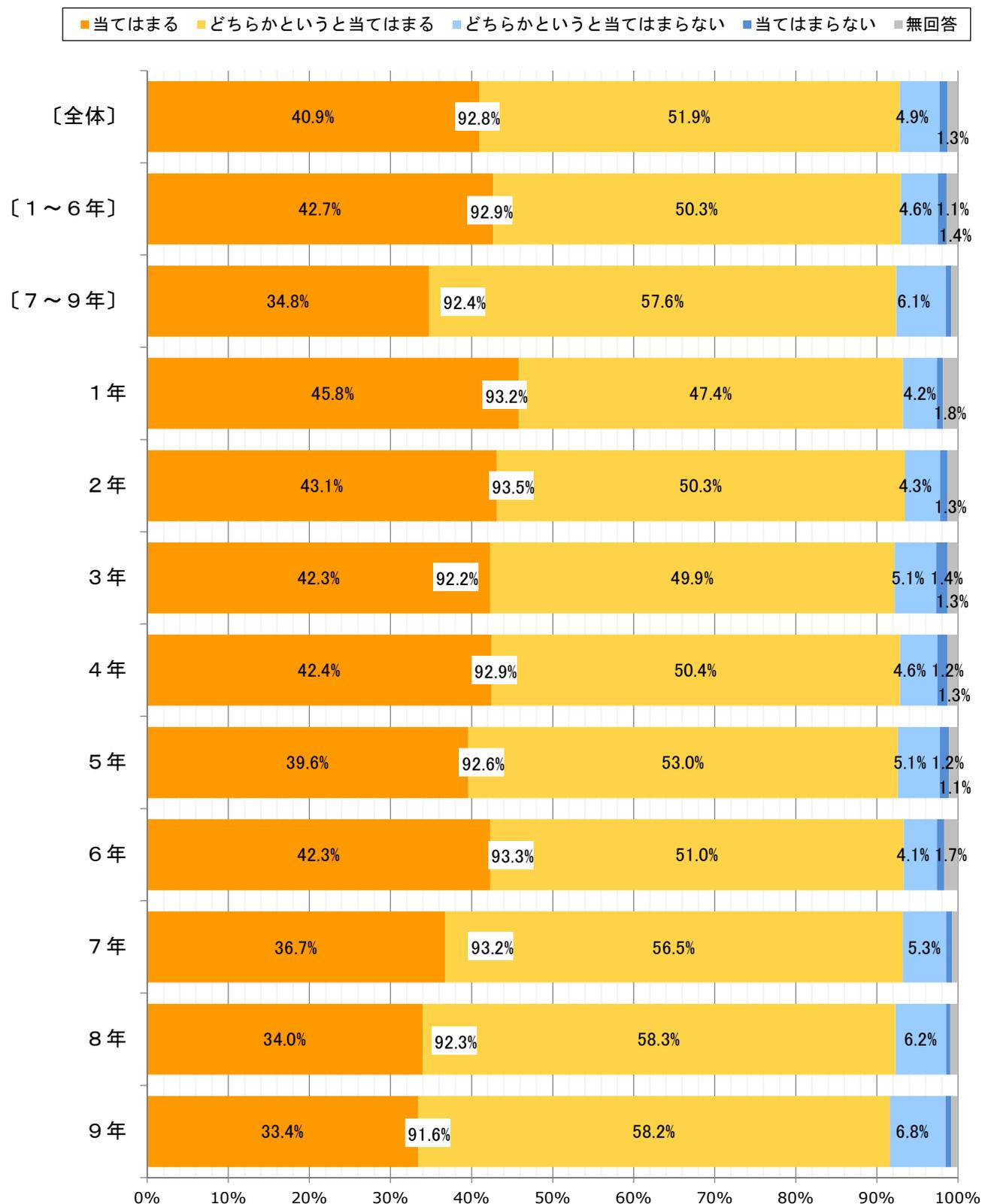
[6] 現在通っている学校に満足している。



〔現在通っている学校に満足している〕に『肯定的な回答』は、全体で92.5%となっている。1～6年は93.1%、7～9年は90.2%と、いずれも90%を超えている。
「当てはまる」の割合は1～6年の51.0%に比べ、7～9年は41.6%と低い。

[C. お子さんが通っている学校と地域との連携・協働について]

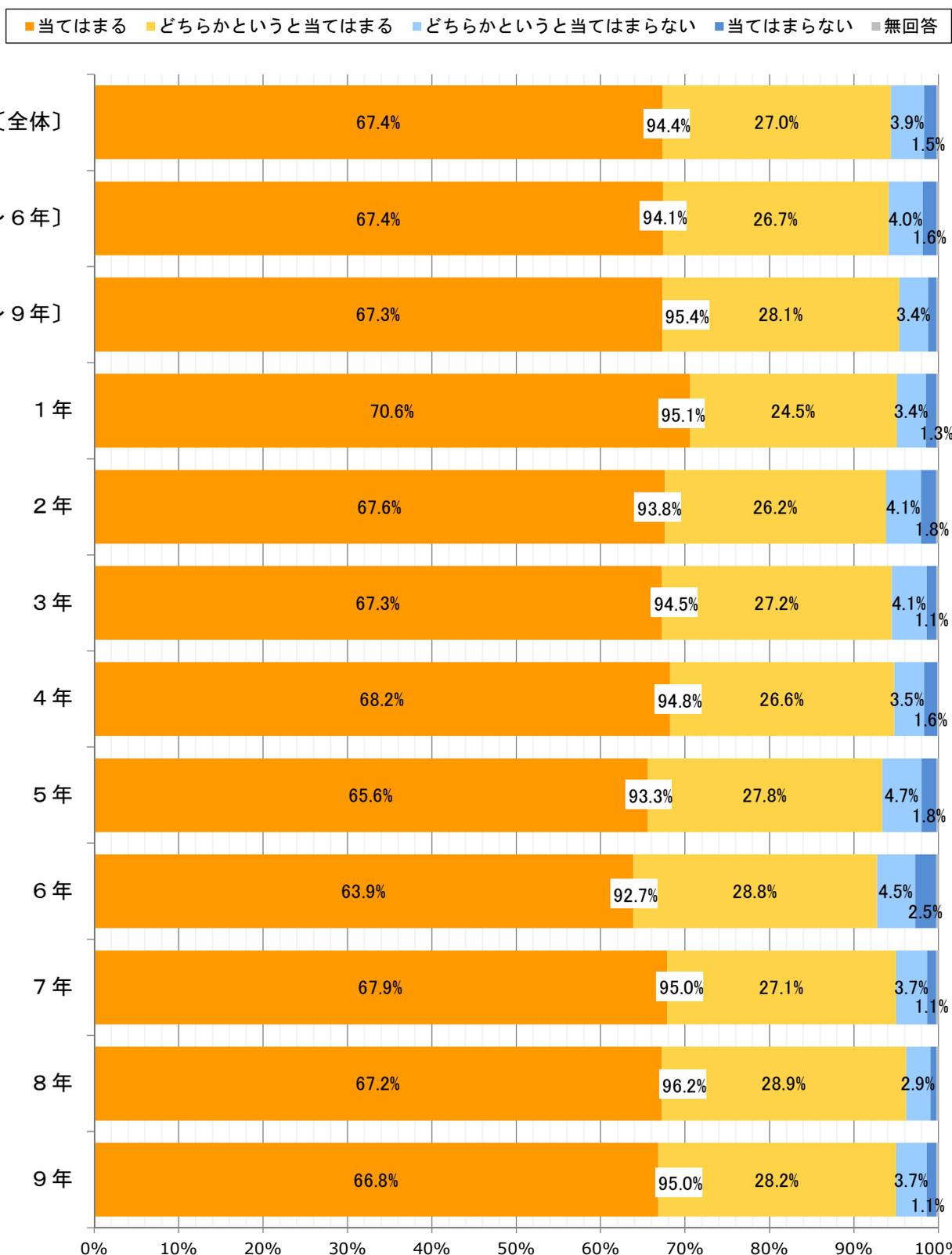
[7] 品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う。



〔品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う〕に『肯定的な回答』は、全体で92.8%である。『肯定的な回答』は1～6年は92.9%、7～9年は92.4%と0.5ポイント差であるが、「当てはまる」の割合は1～6年の42.7%に比べ、7～9年は34.8%と低い。

[D. ICT教育について]

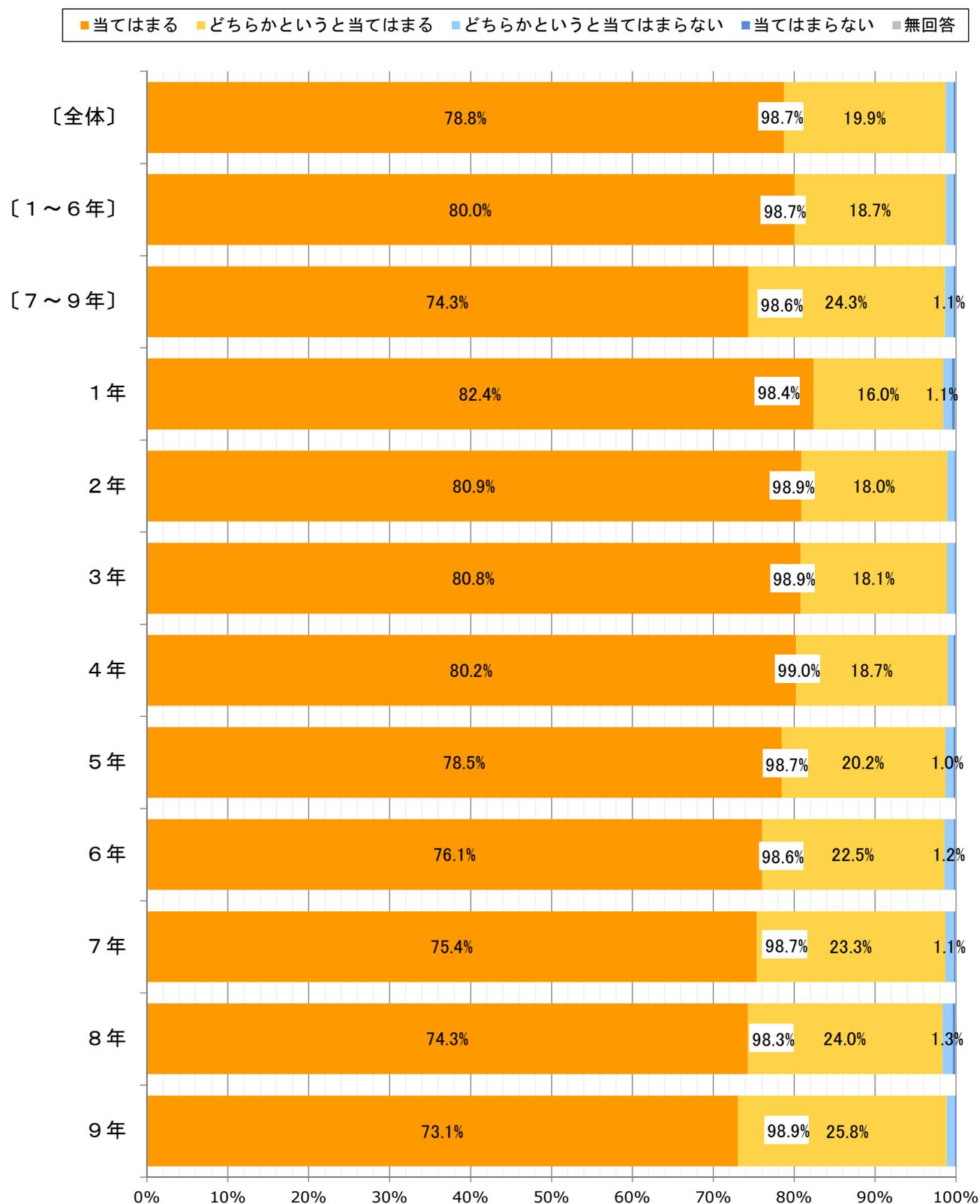
[8] お子さんがコンピュータやタブレットなどのICT機器を日常的なツールとして活用し、情報化社会に適応するための能力を身に付けることは重要だと思う。



「お子さんがコンピュータやタブレットなどのICT機器を日常的なツールとして活用し、情報化社会に適応するための能力を身に付けることは重要だと思う」に『肯定的な回答』は、全体で94.4%、1～6年では94.1%、7～9年では95.4%であり、回答傾向に学年による大きな差はみられない。
 「当てはまる」の割合は1～6年の67.4%、7～9年は67.3%となっている。

[E. 多様性・多文化理解について]

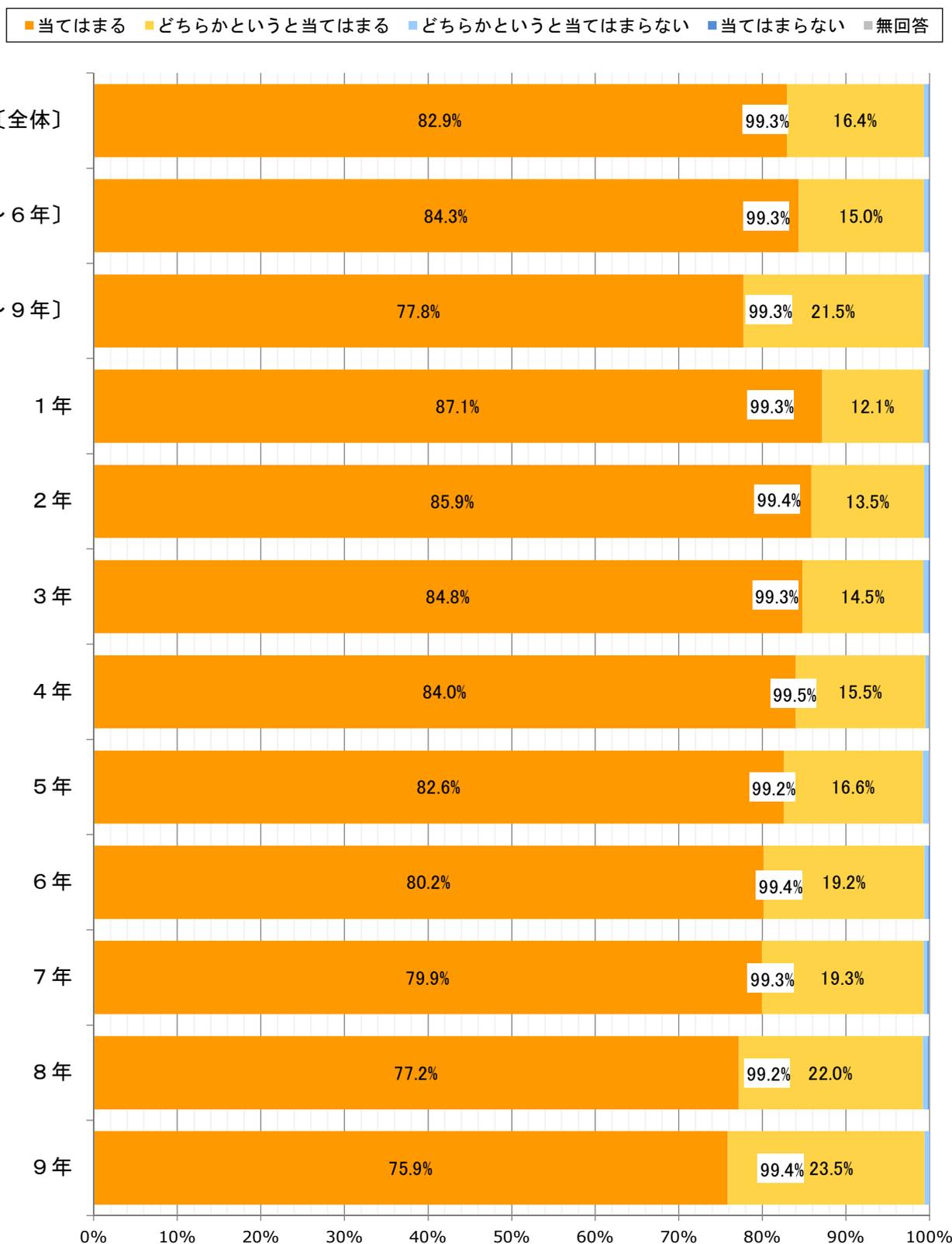
[9] お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う。



【お子さんが多様性について理解をすることは大切だと思う】に『肯定的な回答』は、全体で98.7%である。

『肯定的な回答』は1～6年では98.7%、7～9年では98.6%でほぼ同じ割合であるが、「当てはまる」の割合は1～6年で80.0%、7～9年は74.3%と約6ポイントの差がある。

[10] お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う。



「お子さんが多文化について理解をすることは大切だと思う」に『肯定的な回答』は、全体で99.3%である。

1～6年、7～9年のいずれも99.3%であるが、「当てはまる」の割合は1～6年で84.3%、7～9年で77.8%で、6ポイントあまり差がある。

令和5年度児童・生徒アンケートの結果

令和5年度児童・生徒アンケートの概要

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う2年生以上の全児童・生徒

【調査期間】

令和6年1月19日（金）から令和6年1月31日（水）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

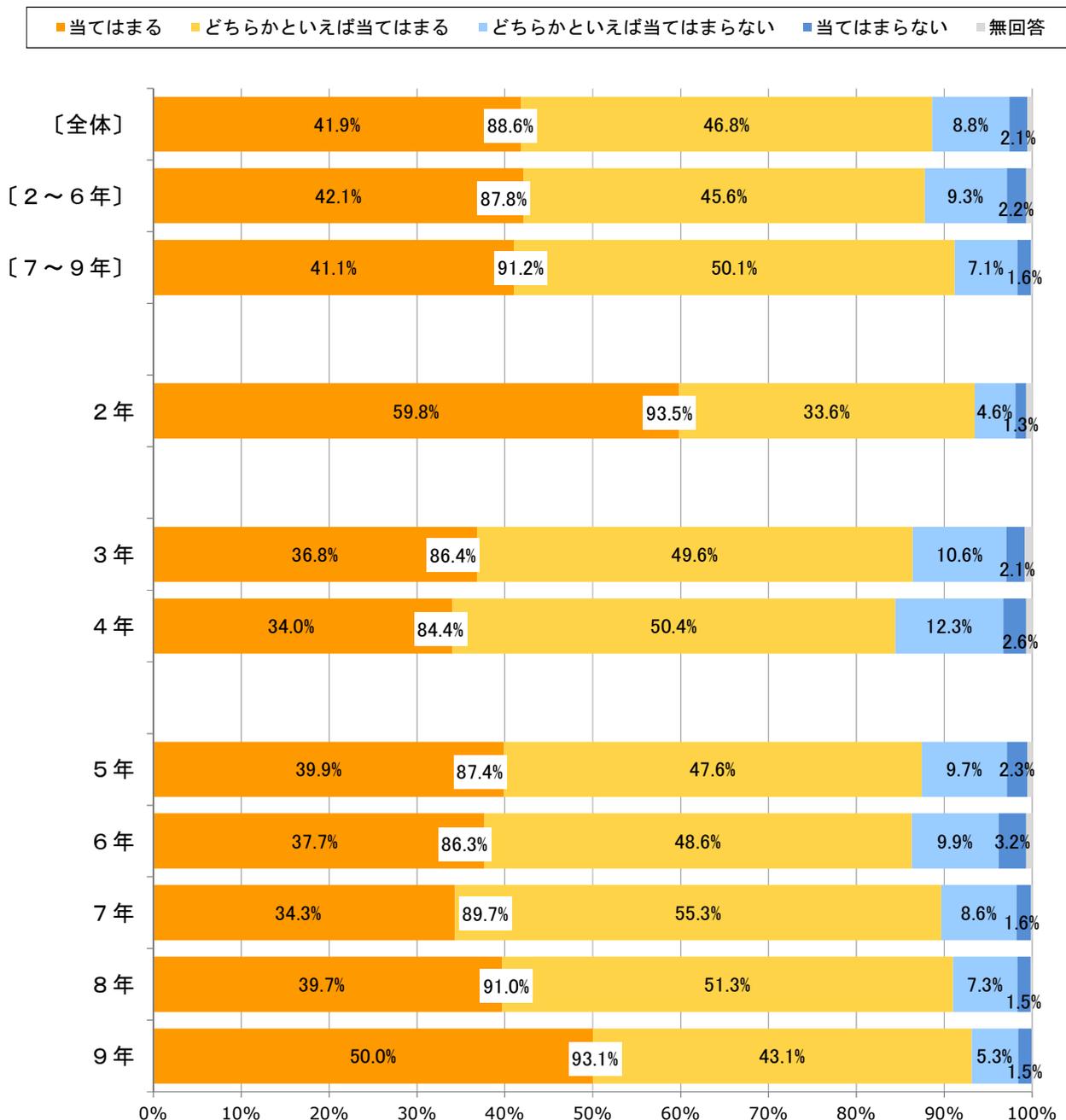
配布数 19,879 回答数 18,106（内、有効回答数 17,950） 回答率 90.3%

注 記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. コメント欄内の『肯定的な回答』は、「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」の合計である。

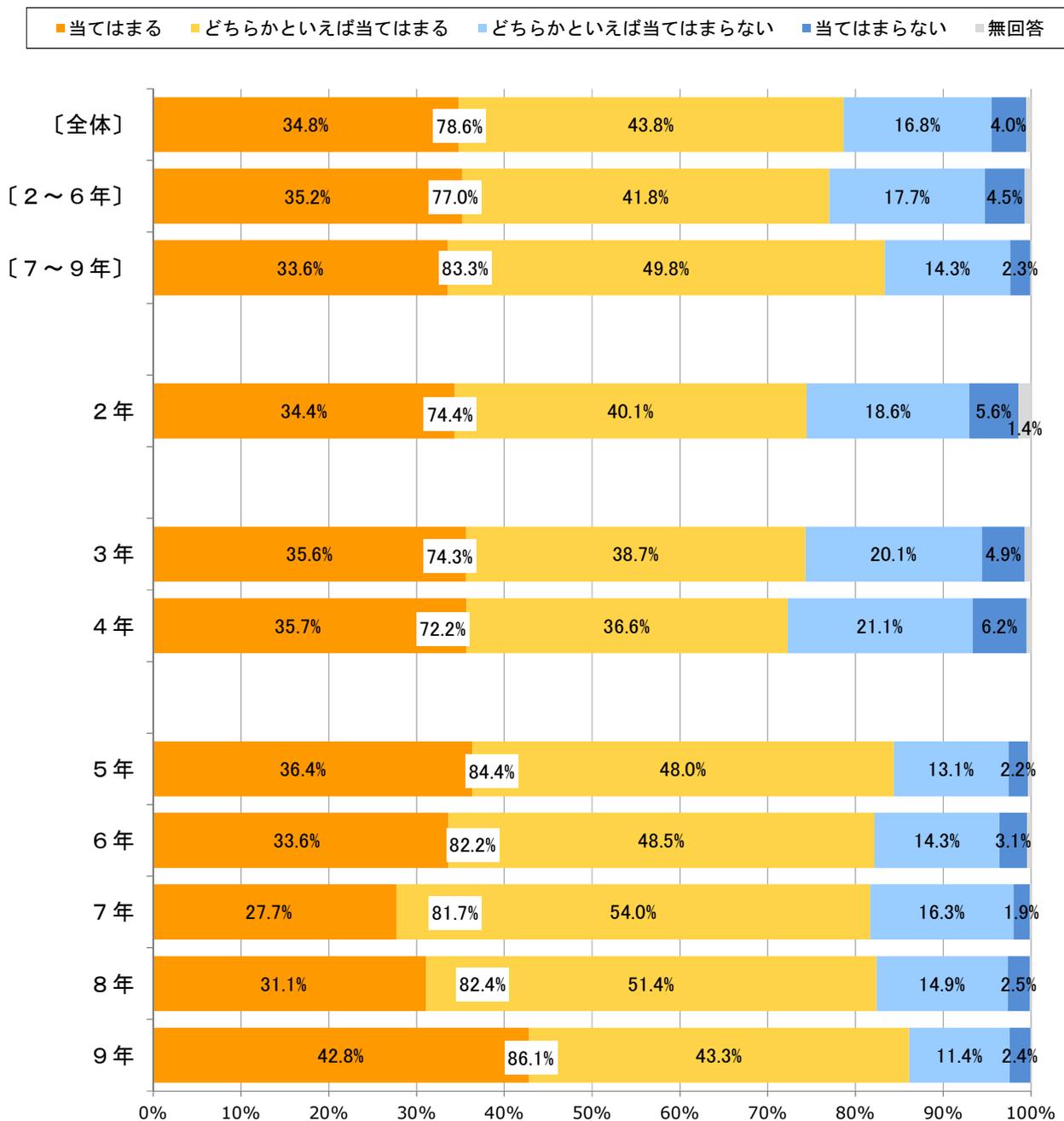
[A. 学校や家での様子について]

- [1] (2年) 係の仕事をしっかりできる。
 (3・4年) 学級の目標の達成に向け、自分のできることを行うことができる。
 (5～9年) 自分が所属する集団の目標の達成に向け、自分の役割や責任を考えて行動できる。



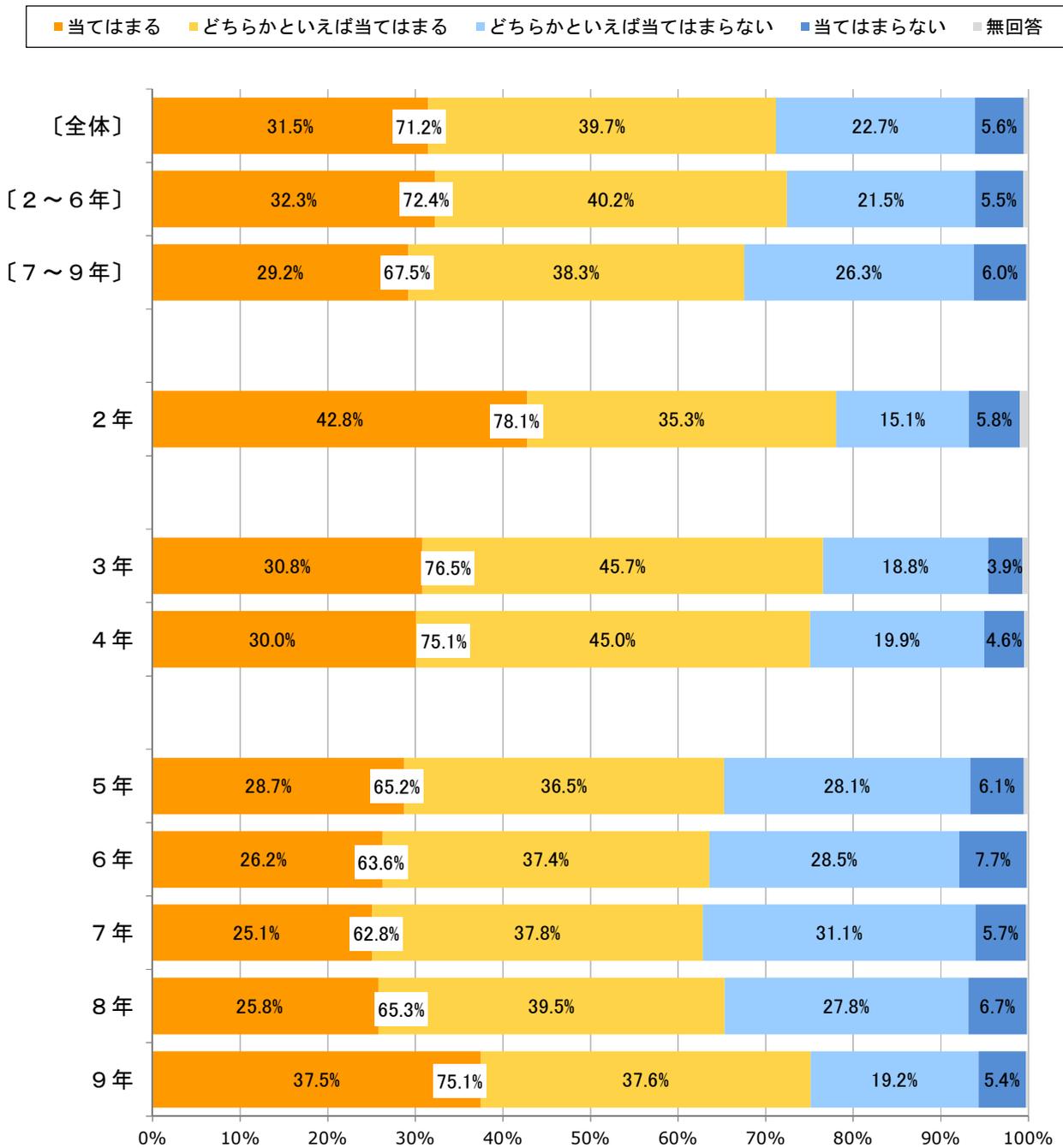
2年では「係の仕事をしっかりできる」の『肯定的な回答』は93.5%である。3～4年の「学級の目標の達成に向け、自分のできることを行うことができる」の『肯定的な回答』は、80%台を占めており、5～9年の「自分が所属する集団の目標の達成に向け、自分の役割や責任を考えて行動できる」は80%～90%となっている。

- [2] (2年) 良いクラスをつくるため、話し合いで意見を言える。
 (3・4年) 学級などの集団において、自分の考えや意見を出すことができる。
 (5～9年) 学級などの集団で活動するとき、自分たちで考え、行動できるように、他に働きかけることができる。



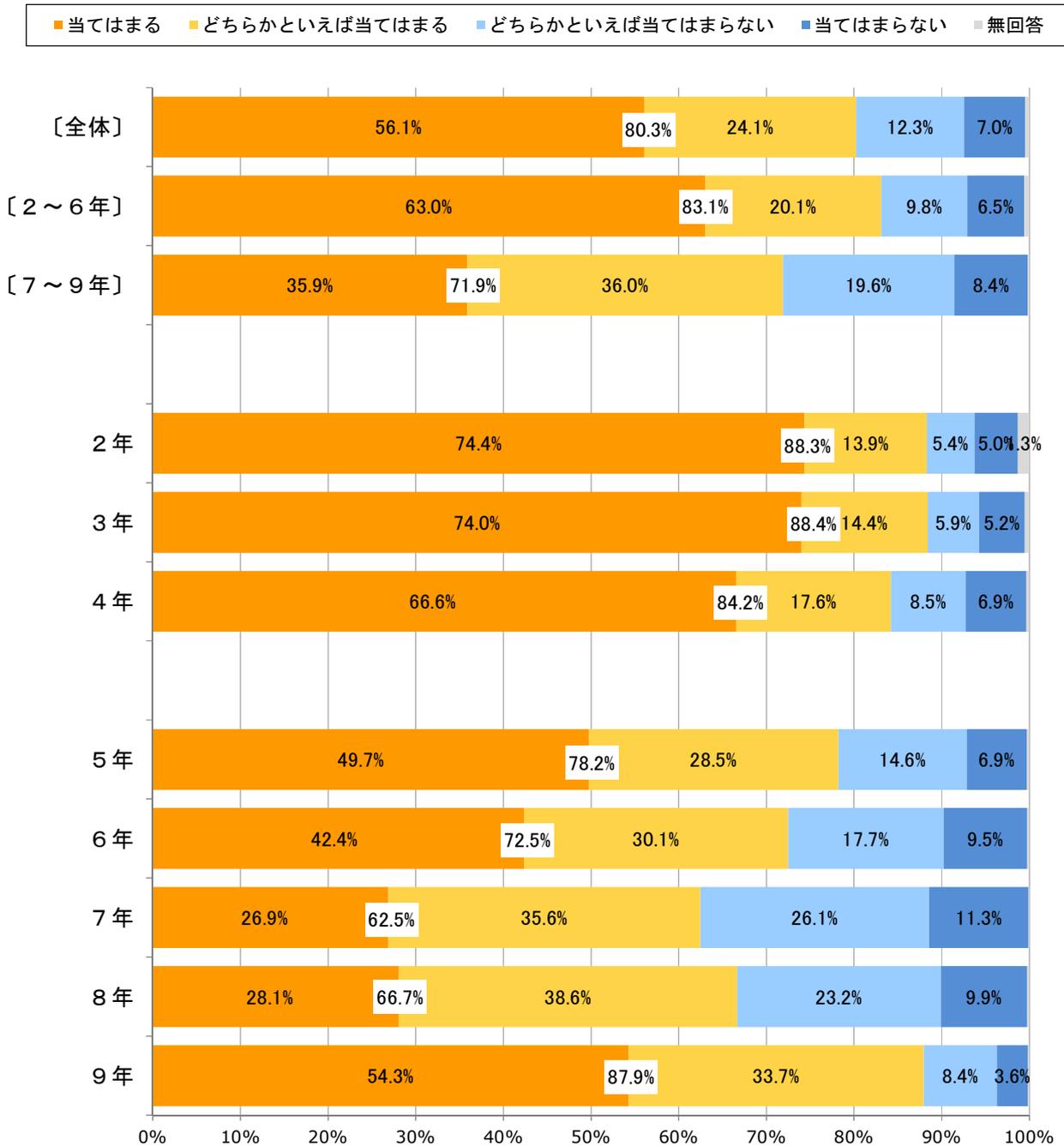
2年では「良いクラスをつくるため、話し合いで意見を言える」は74.4%となっている。3～4年の「学級などの集団において、自分の考えや意見を出すことができる」の『肯定的な回答』は70%前半を占める。また、5～9年の「学級などの集団で活動するとき、自分たちで考え、行動できるように、他に働きかけることができる」は80%を超えている。

- [3] (2年) クラスや学校の発表会で工夫して発表している。
 (3～4年) 自分の思いや考えを分かりやすく伝えるために工夫することができる。
 (5～9年) 学校行事などの企画や運営に積極的に参加し、自分の考えを効果的に発信することができる。



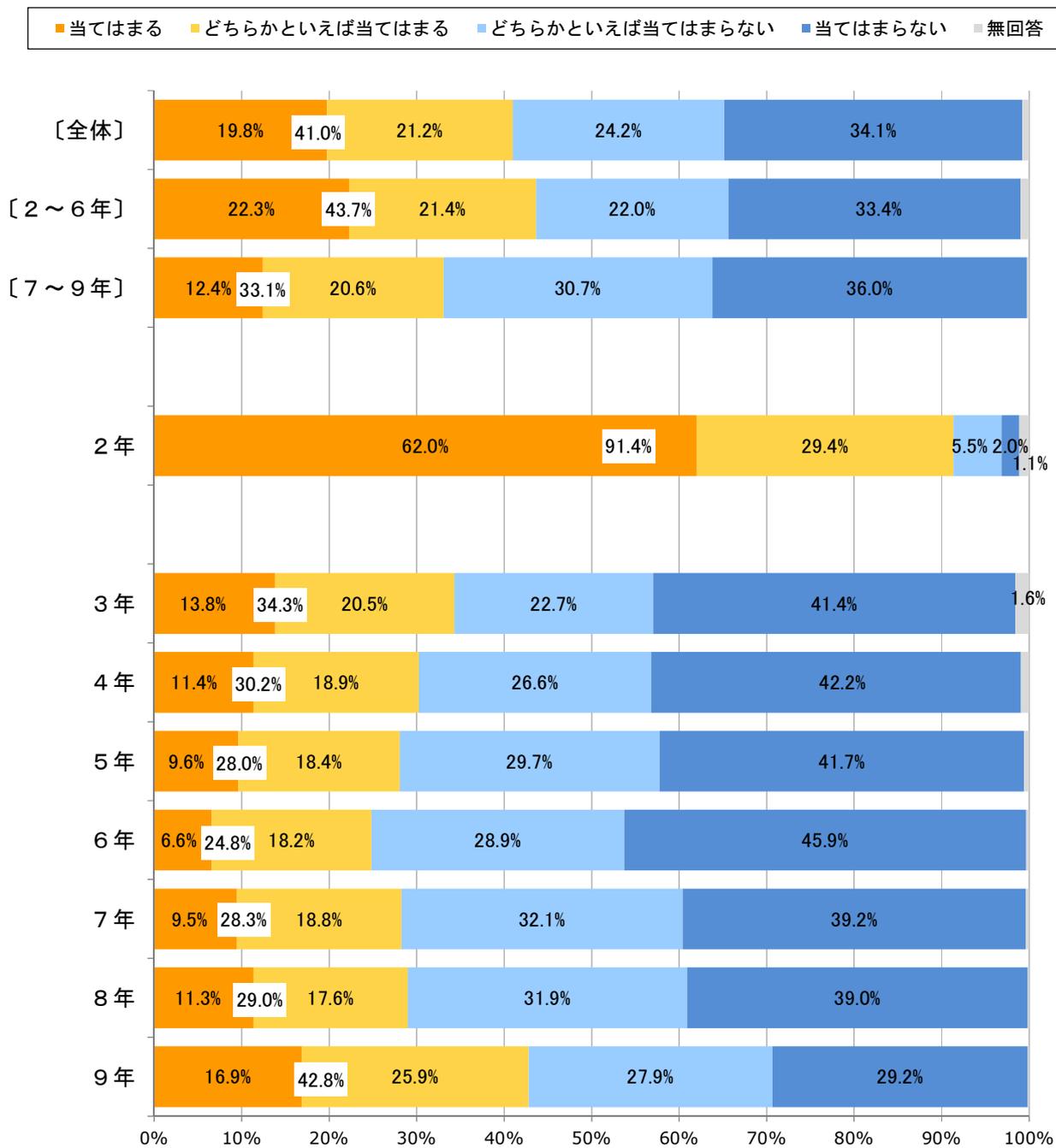
2年の「クラスや学校の発表会で工夫して発表している」は78.1%である。3～4年の「自分の思いや考えを分かりやすく伝えるために工夫することができる」は70%台であり、5～9年の「学校行事などの企画や運営に積極的に参加し、自分の考えを効果的に発信することができる」は5～8年は60%台、9年は75.1%となっている。

- [4] (2～4年) 将来なりたい仕事ややりたいことがある。
 (5～9年) 将来なりたい職業ややりたいこと、進学したい学校等があり、そのために努力している。



2～4年の「将来なりたい仕事ややりたいことがある」に『肯定的な回答』はいずれも80%を超えている。
 5～9年の「将来なりたい職業ややりたいこと、進学したい学校等があり、そのために努力している」の『肯定的な回答』は5～6年が70%台、7～8年が60%台、9年は87.9%となっている。

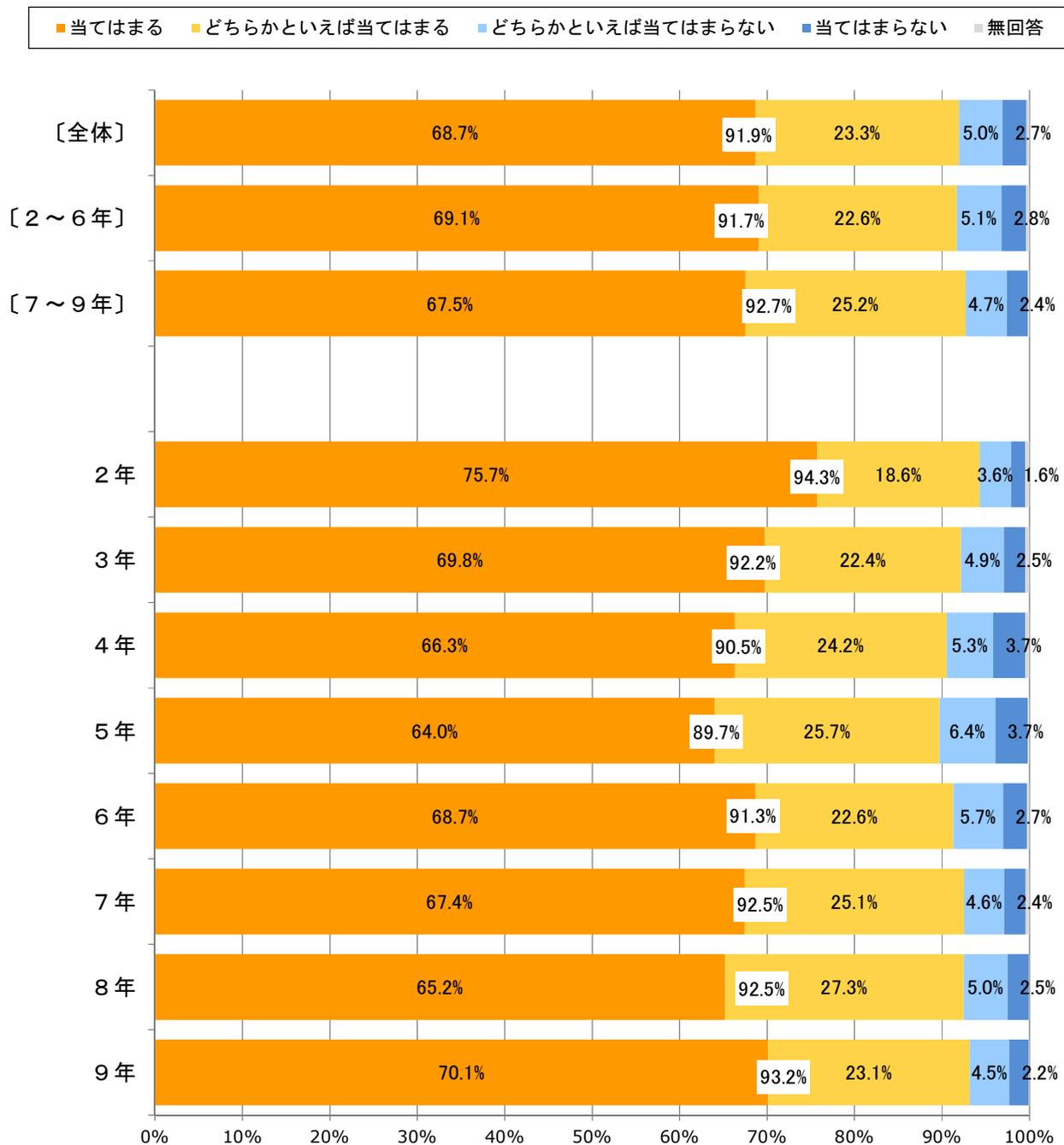
[5] (2年) みんなのために働くのは楽しいと思う。
 (3～9年) ボランティア活動などに参加している。



2年では「みんなのために働くのは楽しいと思う」に『肯定的な回答』は91.4%である。3～9年では「ボランティア活動などに参加している」に『肯定的な回答』は20%～40%台に留まった。

[B. 英語の学習について]

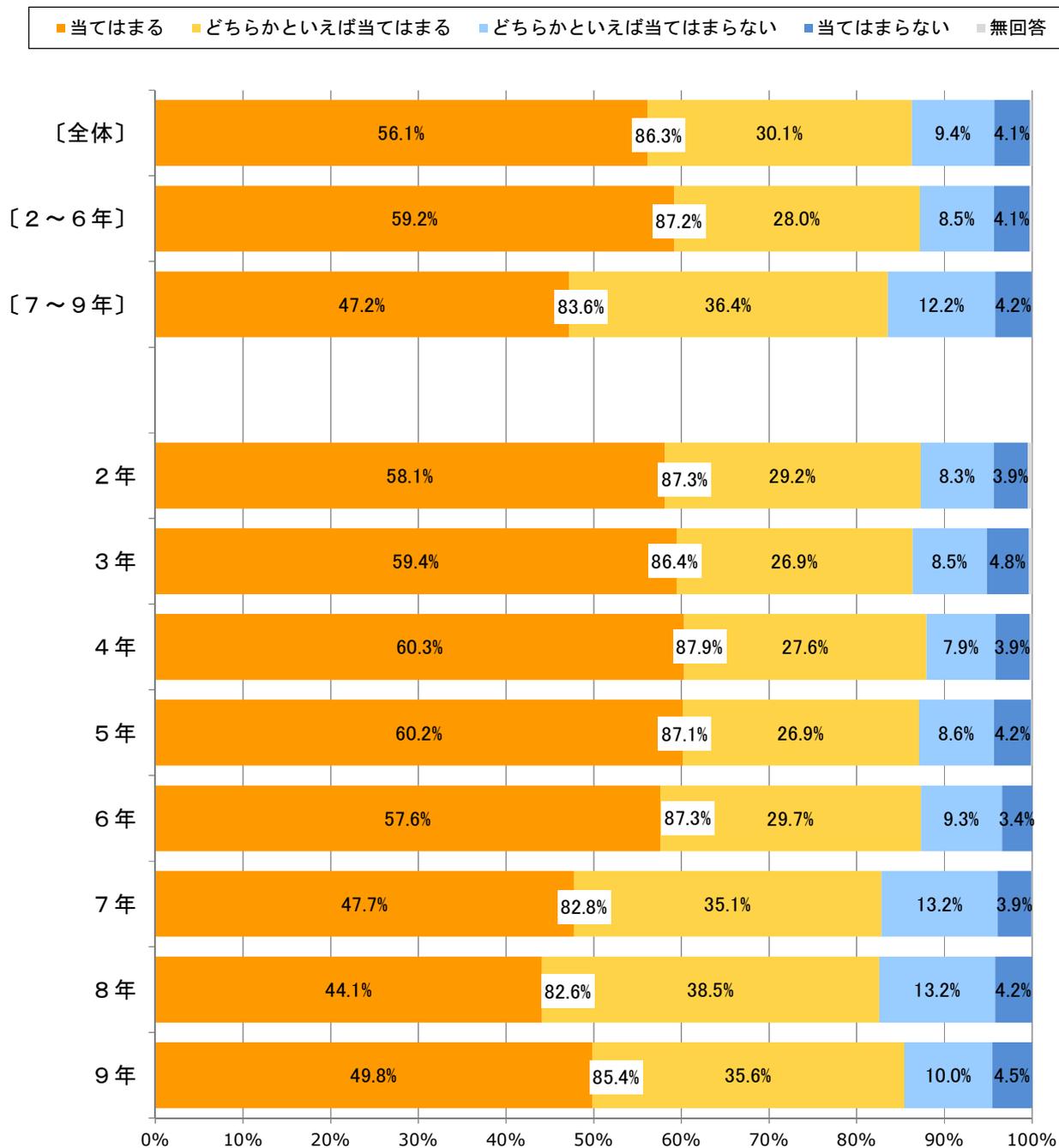
[6] (2～9年) 英語の学習は大切だと思う。



「英語の学習は大切だと思う」に『肯定的な回答』は、全体では91.9%であり、2～6年は91.7%、7～9年は92.7%である。「当てはまる」の割合は、2年で75.7%と最も高く、5年で64.0%と最も低い。

[C. コンピュータやタブレットなどの活用について]

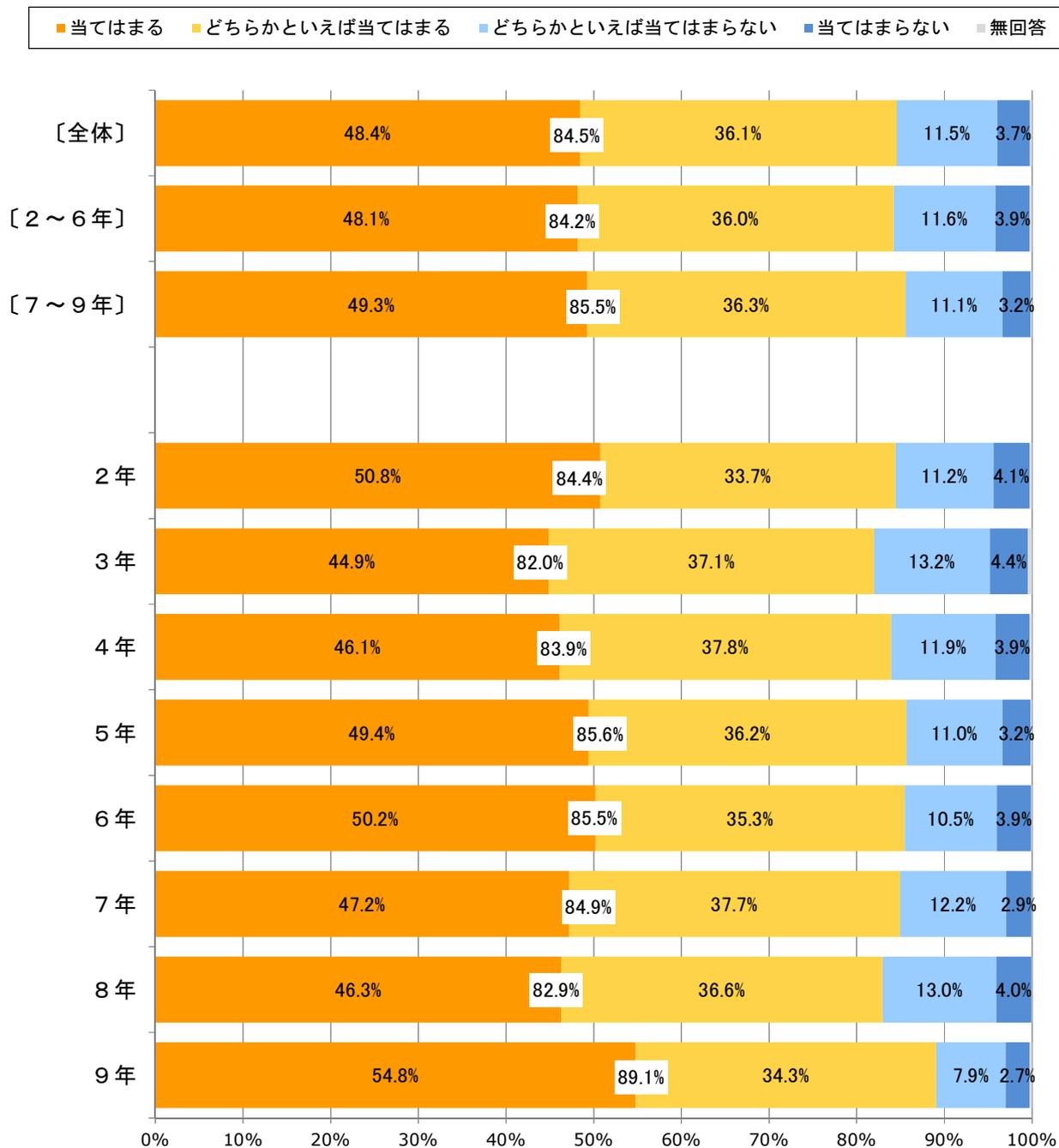
[7] (2～9年) 授業でもっとコンピュータやタブレットなどのICT機器を活用したいと思う。



「授業でもっとコンピュータやタブレットなどのICT機器を活用したいと思う」に『肯定的な回答』は全体では86.3%であり、学年別でも全学年で80%以上である。なお、「当てはまる」の割合は4年で60.3%と最も高く、2～6年ではいずれも60%前後であるが、7～9年では半数以下である。

[D. 多様性・多文化理解について]

[8] (2～9年) 様々な立場や様々な文化をもつ人とコミュニケーションを取りたいと思う。



「様々な立場や様々な文化をもつ人とコミュニケーションを取りたいと思う」に『肯定的な回答』は全体で84.5%である。2～6年は84.2%、7～9年は85.5%である。
「当てはまる」の割合は9年で54.8%と最も高く、3年では44.9%と最も低い。